

平成27年度 事業計画の実施状況

(1) 教育面

1 「第3期5カ年計画」(平成25年度～29年度)の推進

本計画の3本の柱、「学習活動と部活動の充実」「生徒の自主性の育成」「学校の独自性の追求」に基づいて策定した諸目標の達成に向けた取り組みを行った。

(1) 「学習活動と部活動の充実」

① 学習活動

○ 目 標

進学率を90%以上にし、国公立大学合格者60名以上を達成する。
進学意識を高めるため、1年の秋に大学見学を実施した。(2年目)
「進路の時間」の充実、体験学習への積極的な参加を今後進めたい。

○ 進学状況

国公立大学 合格者数 21名(前年度比6名減)
合格者数減少傾向(教科についての口頭試問)
私立大学 合格者数220名(延べ人数)(前年度比51名増)
就 職 93名(内訳:学校推薦83名(100%)、縁故など10名)
・進学支援、就職指導、推薦入試の指導の開始時期を早めた。

② 部 活 動

○ 部活動へ体験的に参加できる「部活動加入WEEK」を実施した。

○ 部活動実績

- ・ソフトテニス インターハイ(全国)出場(4年連続)、国体出場
- ・女子バレー部 春高バレー(全国)出場(2年連続)
- ・陸上部(女子) インターハイ(全国)出場
- ・水 泳 部 インターハイ(全国)出場
- ・書 道 部 高総文祭(全国)出場、平成27年度も出場決定

○ 統 廃 合 等

- ・男子バレー部発足(同好会から格上げ)
- ・水泳部は平成27年度末で廃部
- ・平成26年度末で商業科の生徒がいなくなるのに伴い、商業・コンピュータ関係4部活を2部活に統合

(2) 「生徒の主体性の育成」

生徒一人一人が、問題や課題、将来の目標を見据え、自ら考え、工夫し、行動し、達成感を得ることのできる学校作り。

① 生徒に責任を持たせることでリーダーを育成する。

部活動と連携したあいさつ運動・・・1年間を通して実施

出会ったら互いにあいさつを交わすことにより自然なものとなるようにしたい。

(3) 「学校独自性の追求」

長い伝統を持った私立高校としての特色があり、生徒一人一人が愛校心をもてる学校作り。

- ・男子用ベルトを年次進行で指定のものとする。(1年目)
- ・富士駅にポスター展示スペースを確保(2年目)
- ・富士見らしい学校行事及びに地域に認められる活動をさらに追及したい。
- ・講演会の実施

(静岡新聞主催：多田容子氏 演題「江戸の平和を築いたサムライ達」)

2 学習支援の強化(学習習慣の定着)

○ 生徒の生活習慣、学習習慣の定着を図る。

- ・朝の挨拶運動 年間を通して、部ごとに交代で実施(継続)
- ・朝の登校指導 環境安全部(継続)

○ 新教育課程の進行に合わせシラバスの作成開始→1、2年生のシラバス作成

- ・特進コース ベネッセによる、学習習慣分析
- ・特進Ⅱ類 全員参加の夜間学習の継続、全員が年間2回全国模試を受験
- ・進学コース 特進Ⅱ類と平行して、進学1組文理系の夜間学習(継続)
試験前夜間学習の実施、校外模試の実施
WT(ウィークリーテスト)の内容の工夫と実施(天声人語、漢検、英検、進路)

3 進路支援の強化

- 高校3年生 進学指導(進学指導(推薦入試への対応)の時期を早めた。
- 進学コース WTに進路の時間を組み込んだ。

4 学習環境の整備

- スマホ講座の実施（生徒向け、保護者向け、教員向けの計3回実施）
- 生徒事故 大きな事故が目立った。安全教育の徹底が必要
- 敷地内禁煙の推進 本年度から全面禁止
- 施設設備 中庭改修（完了）、プール取壊し（完了）
グラウンド整備、部室棟建設（平成27年5月末完成予定）

5 生徒募集の安定化

- 平成26年度入学者は336名（単願319名、併願17名）
平成27年度入学者は336名（単願299名、併願37名）
 - （1）進路に期待の持てる学校
 - （2）一人一人の生徒に居場所のある明るくて楽しい学校
 - （3）スクールバスの運行（4コース 登校1便、下校3便）
 - ※ 平成27年度からバスの契約料が大幅値上げとなる。
 - （4）広報活動 高校 1日体験入学の内容の改良
 - ・本校教員による授業
 - ・土曜入試相談会の実施
 - （5）中学2期生の定員確保

6 中学校の運営・推進

- 平成26年3月28日 学校設置認可受領
4月 5日 開校式・入学式
- 広報活動 広報部内に中学入試広報室設置
富士・富士宮市 教育長への挨拶（4月）
富士・富士宮市 小学校訪問（パンフレット配布など）
塾対象説明会（6月）（パンフレット配布など）
中学校説明会・体験入学（全5回（第1回7月実施））
新聞広告（3回）、折込広告（1回）
- 入学者選抜 志願者21名、合格者18名、入学手続完了者18名

※ 入学者の教育の充実を図るとともに、次年度は十分な入学者を確保できるよう努力したい。

(2) 財 務 面

「健全財政の堅持」の実現に努め、平成27年度決算では帰属収支差額1,033万円の黒字、消費収支差額1億6400万円の赤字であった。累計消費収支差額は15億円で帰属収入の1.4倍という黒字ではあるが、当初2倍の財務目標は達成できませんでした。

- 平成27年度当初の学園規模は下表のとおりです。(平成27年4月現在)

| | 富士見中学校 | 富士見高等学校 | 合 計 |
|-------------|--------|---------|--------|
| 生 徒 数 | 36名 | 1,054名 | 1,090名 |
| 専 任 教 員 数 | 5名 | 39名 | 44名 |
| 常 勤 講 師 数 | 2名 | 31名 | 33名 |
| 非 常 勤 講 師 数 | | 21名 | 21名 |
| 専任事務職員数 | 1名 | 5名 | 6名 |
| 事務嘱託員数 | | 7名 | 7名 |

- 人件費関係比率もようやく下表のとおり全国高校平均値以下の目標に近づいております。

| | 平成27年度 富 士 学 園 | 平成26年度 全国高校平均 |
|-------------|-------------------|------------------|
| 人 件 費 率 | 60.3% | 60.9% |
| 人 件 費 依 存 率 | 127.7% | 117.9% |
| 補正人件費依存率 | 67.8% | 71.6% |

- 教育環境整備について

併設中学校開設を機に、施設・設備等の改修を進めてきた。

グラウンド全面改修工事については2年間に亘る継続事業とし、平成27年5月末をもって完成。

平成22年度より体育施設の整備を進め、第2体育館を皮切りに、第1体育館、グラウンド全面整備を最後に完成することができた。